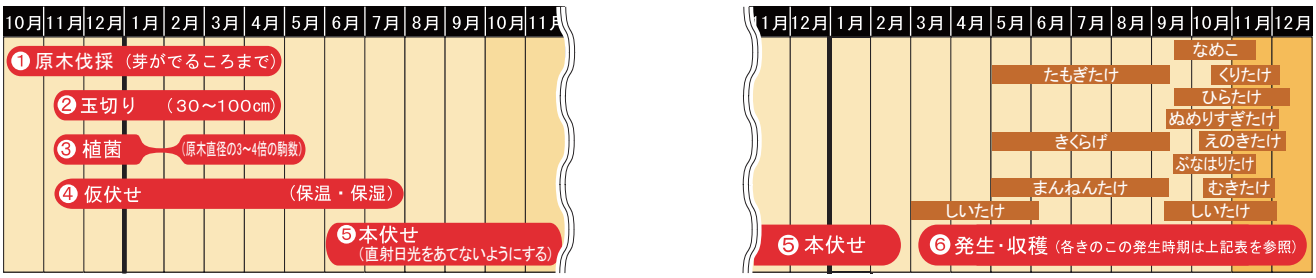
KOMERI.COM

きのこの作り方

きのこはすぐにはでき上がりません。早くても２年かかります。
でも、原木から手作りきのこを育てて収穫するのはとても楽しい！ そしておいしい！！ ぜひ、チャレンジしてみて下さい。

■ 年間作業カレンダー



1 原木伐採

最適種 コナラ、クヌギ、ミズナラなど。5～30㎝位の太さの木が最適。

時期 紅葉期から、新芽がでる頃まで。10月中旬頃から3月頃までが適期です。

2 玉切り

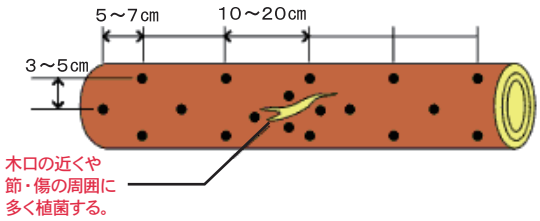
枝干し 枝、葉をつけたまま、均等に水分を抜きます。
直射日光が当たらないよう、枝・葉などで覆います。

玉切り 細かいひび割れが、木口の樹皮の近くにもできた頃です。
玉切り後（購入原木も）は、直射日光に当てないよう、遮光ネットなどで覆い乾燥を防ぎましょう。

3 植菌 ※ここまでの作業を済ませた物が、ホームセンターなどで購入できます。

玉切り（購入原木も）したら、乾燥しないうちに植菌する。

穴を開ける…ドリルなどで千鳥状か、ラセン状に開けます。
菌を植える…菌は木の樹皮面と平行に打つのがポイントです。
植菌配列…タテ10～20㎝間隔に5～9ヶ所、ヨコに3～5㎝間隔に植菌します。
植菌の数…原木の木口直径（㎝）の3～6倍以上の箇所に植菌します。



4 仮伏せ

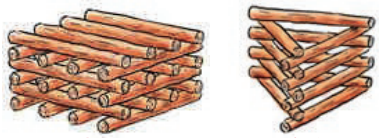
方法…高温多湿になる前まで行います。

いきなり本伏せすると、原木が乾燥しすぎてしまうため、ワラや笹、シートで覆う「仮伏せ」をします。仮伏せすることで温度、湿度を保ち原木内に十分に菌を行き渡らせることができます。

5 本伏せ

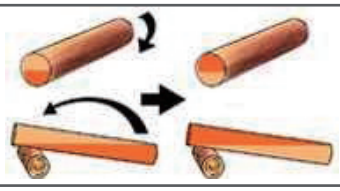
場所 林、ハウス、裸地、人工ほだ場など。水はけが良く、暖かく明るく風通しが良いところに置きます。
直射日光は避けます。直射日光が当たる場合は遮光ネットなどで日かげをつくると良いでしょう。

方法



時期
6月上旬頃、大部分のほだ木の木口に菌糸紋が表れた頃に行います。
乾燥し過ぎないように適度に散水します。

MEMO
天地返し
2～3ヶ月に1回天地返しをして、ほだ木のどの部分も同じ状態にして下さい。



6 発生・収穫

きのこは菌を植えて２年目から収穫できます。傘が開かないうちに収穫しましょう。
風通しの良いところで、直射日光に当たらないように手入れをすると、数年間は収穫できます。

How To 情報
コメリドットコム「HowTo情報」には、DIY情報、住まいやくらしに役立つノウハウが満載です。

Copyright©KOMERI Co.,Ltd. All rights reserved.